

教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成24年度対象)

**平成25年8月
萩市教育委員会**

■ 目 次

1 萩市学校教育の基本方針	• • • • 1~6
2 教育委員会事務の点検・評価について	• • • • 7
(1) 趣 旨	
(2) 点検・評価の対象事業	
(3) 点検・評価の方法	
(4) 点検・評価の結果	
3 平成24年度事業点検・評価について	• • • • 7
<事業点検・評価シート>	
・ 特色ある学校づくり推進事業	• • • • 8
・ 確かな学力育成事業	• • • • 9
・ 児童生徒支援事業	• • • • 10
・ 学校施設耐震化事業	• • • • 11
4 教育委員会の活動について	• • • • 12
○ 添付資料	• • • • 12

平成24年度

萩市学校教育の基本方針

21世紀の萩らしい教育の推進

自然、歴史、文化をいかした
心豊かなひとづくり



萩市教育委員会

学校教育課

拠点校（コアスクール）構想

地域や学校の特色を鮮明にした教育を推進するため、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進します。

子ども、保護者、地域の実態を踏まえ学校の取り組むべき課題を明確にします。

私たちの学校は

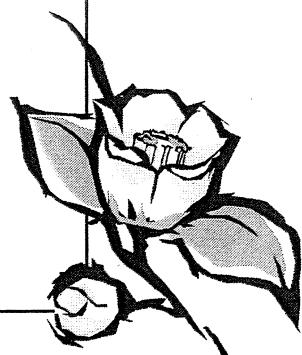
（具体例）

9年間を結ぶ小中連携教育
豊かな心を育むボランティア活動
地域に学ぶふるさと学習

少人数・複式教育
地域に学ぶ漁業学習
心と才能を伸ばす松陰教育
健志心を育むキヤリア教育
いいやかな心身を育む食育・健康教育
ややりの心を育む道徳教育
え合うコミュニケーション能力育成

これらの特色ある取組をおして、志をもった生きる力を育んでいきます

○ ○ ○ の拠点校です。



基本方針

21世紀の萩らしい教育の推進

自然、歴史、文化をいかした 心豊かなひとづくり

中心目標

ふるさと萩市を誇りとし
志を抱きながら
生きる力をもった子どもを育成する



●創意と活力に満ちた特色ある取組

特色ある教育活動推進拠点校(コアスクール)構想



●共通取組事項

1 ふるさと萩市を誇りとする 子どもを育てます

- ふるさと学習の展開
- 志を育てる教育の推進
- キャリア教育の推進

2 学力の向上を図ります

- わかる・できる授業の実践
- やまぐち学習支援プログラムの活用
- 家庭学習の充実

3 豊かな心を育みます

- 道徳教育の充実
- 生徒指導の推進
- 9年間を通しての児童生徒理解

4 健やかな体を育みます

- 基礎体力の向上
- 望ましい生活・運動習慣の形成
- 食育の推進

5 保護者や地域に信頼される 学校づくりを推進します

- 開かれた学校づくり
- 学校評価の充実
- 危機管理意識の高揚

6 教育者として常に資質向上をめざします

- 校内研修の充実
- キャリアステージに応じた資質向上
- ミドルリーダー研修

平成24年度 萩市立小・中学校コアスクール一覧

学校名	“〇〇の拠点校”特色ある教育活動の実践
明倫小学校	心と才能を伸ばす教育の拠点校 ～成徳達材と松陰教学～
椿東小学校	松下村塾の志に学ぶふるさと学習の拠点校
越ヶ浜小学校	地域に学ぶ、ふるさと学習の拠点校
椿西小学校	地域に学び、地域に働きかけるコミュニティ・スクールの拠点校
白水小学校	ホタル飛び交うふれあい学習の拠点校
木間小学校	小・中連携教育の拠点校
三見小学校	小中連携教育・ふるさと学習の拠点校
大井小学校	保・小・中アクティブパートナーシップ教育」の拠点校
大島小学校	地域に学び、漁業学習の拠点校
相島小学校	小中“一体教育”の拠点校
見島小学校	地域に根ざした見島ブランド教育の拠点校
川上小学校	地域の特性を生かし、可能性を広げる学校間交流の拠点校
小川小学校	地域から学び、地域を拓くふるさと学習の拠点校
多磨小学校	キャリア教育の拠点校 ～人とのかかわりを通して、心を育むキャリア教育の推進～
むつみ小学校	農業体験（食育：食づくり）教育の拠点校
育英小学校	地域と共に伝統や文化の絆を育む教育の拠点校
弥富小学校	ふるさととのつながりを学び、表現する教育の拠点校
鈴野川小学校	
明木小学校	書くこと話すことを通して心を耕す教育の拠点校
佐々並小学校	9年間のスパンで生きる力の育成をめざす小・中連携教育の拠点校
紫福小学校	米づくりで地域活性化の拠点校
福川小学校	少人数・複式教育の拠点校

越ヶ浜中学校	小中連携教育・地域連携学習の拠点校
木間中学校	小・中連携教育の拠点校 ～小・中の一体化を目指して～
三見中学校	小中連携教育・地域の伝統文化の拠点校
大井中学校	一人ひとりを生かす教育活動推進の拠点校 ～協調学習と小中連携を基盤として～
大島中学校	地域に学ぶ「漁業学習」の拠点校
相島中学校	小・中一体教育”の拠点校
見島中学校	地域に根ざした見島ブランド教育の拠点校
萩東中学校	夢をプランニングするキャリア教育の拠点校 ～あこがれから夢へ、そして志へ～
萩西中学校	城下町萩に学ぶふるさと学習の拠点校
川上中学校	社会の本ものに気づくキャリア教育の拠点校
田万川中学校	ふるさとを愛し、地域に笑顔を広げる コミュニティ・スクールの拠点校
むつみ中学校	里山プロジェクト学習：地域連携体験学習の 拠点校
須佐中学校	コミュニティ・スクールを生かしたキャリア教育推 進の拠点校
明木中学校	地域に学び、地域を愛するふるさと学習の拠点校
福栄中学校	生徒の学びを支える 学校ボランティア有効活用の 拠点校

共通取組事項(6つの水準)

* 萩市教育委員会は、どの学校も次に掲げる共通した取組（6つの水準）を実施し、一定の教育水準が維持できるように支援します。

1 ふるさと萩市を誇りとする子どもを育てます	
□ふるさと学習の展開	・郷土読本等を積極的に活用し、地域や伝統文化を生かした授業に取り組む。
□志を育てる教育の推進	・松陰読本等を活用し、志を育てる教育活動に取り組む。
□キャリア教育の推進	・人々の生き方に学び、発達段階に応じて自分の夢や生き方をしっかりと考え方の生き方に学び、発達段階に応じて自分の夢や生き方をしっかりと考え方をしつかりと考えさせる教育活動に取り組む。
2 学力の向上を図ります	
□わかる・できる授業の実践	・授業のねらいを明確にし、ともに学び合い高め合う授業づくりに取り組む。
□やまぐち学習支援プログラムの活用	・やまぐち学習支援プログラムを積極的に活用し、小中連携して授業改善に取り組む。
□家庭学習の充実	・家庭学習の習慣化を図るため、「家庭学習の手引き」を作成するなど具体的な方策を提示する。
3 豊かな心を育みます	
□道徳教育の充実	・挨拶、清掃活動、言葉遣いなどの重点取組事項を設定し、実践的な取組をおこなう。
□生徒指導の推進	・不登校やいじめなどの未然防止と早期対応をめざした積極的な生徒指導に取り組む。
□9年間を通した児童生徒理解	・児童生徒理解を深めるために、立地条件や学校規模に応じた小中学校間の連携を図る。
4 健やかな体を育みます	
□基礎体力の向上	・子どもの実態に応じた、体力向上に向けた「一校一取組」を進める。
□望ましい生活・運動習慣の形成	・家庭や地域と協働したよりよい生活習慣づくりの取組を行う。
□食育の推進	・地域の食材や旬の食材を扱った、よりよい食習慣を育む食育指導を行う。
5 保護者や地域に信頼される学校づくりを推進します	
□開かれた学校づくり	・学校だよりやHP等による情報発信を行うとともに、保護者や地域住民の協力を得ながら学校運営を行う。
□学校評価の充実	・全職員が関わって学校評価項目を検討、作成するなど、評価項目の充実を図り、組織的な改善に取り組む。
□危機管理意識の高揚	・危機管理の意識の高揚を図る研修を定期的に実施し、未然防止に努める。
6 教育者として常に資質向上をめざします	
□校内研修の充実	・全教職員が授業公開をし、授業研究に取り組み、指導技術の向上を図る。
□キャリアステージに応じた資質向上	・自己目標シート等を利用し、キャリアステージに応じた課題を設定し、資質向上に努める。
□ミドルリーダー研修	・ミドルリーダーの一層のスキルアップを図るため、広く学校経営全般に係る研修を進める。

2 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月から施行されたことに伴い、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

萩市教育委員会では、法の趣旨に則り、「教育委員会事務の点検・評価」を実施し、次のとおり報告書にまとめました。

(2) 点検・評価の対象事業

点検・評価に当っては、萩市基本構想に沿った施策大綱である「自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり」に体系化された「幼児及び学校教育の充実」に基づき、「義務教育の充実」、「教育行政の推進」に係る事業を対象とし、平成23年度事業の中から主要5事業を選定しました。

(3) 点検・評価の方法

- ・ 事業点検・評価シートを作成しました。
- ・ 事業点検・評価シートにおいて、事業目的を明らかにし目標を掲げました。また、事業の実施状況に係る事業成果を検証し、今後の取組について検討しました。

(4) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、報告書を作成し公表します。

3 平成24年度事業点検・評価について

この報告書における点検・評価の対象とした事業は、次の4事業です。

- ・ 特色ある学校づくり推進事業
- ・ 確かな学力育成事業
- ・ 児童生徒支援事業
- ・ 学校施設耐震化事業

事業点検・評価シート

平成24年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	特色ある学校づくり推進事業		
事業目的	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。		
目標	各学校において、地域や学校の実態に応じたコアスクール構想を掲げ、特色ある学校づくりに取り組んでいく。		
事業の実施状況	<p>各学校において、地域や学校の特色を活かしてコアスクールを設定し、特色ある学校づくりに取り組んだ。</p> <p>各校のコアスクールの取組は以下のとおりである。</p> <p>松陰教学：1校　ふるさと学習：5校 コミュニティ・スクール：2校　小・中連携教育：8校 特別支援教育：1校　少人数複式教育：1校 伝統文化の継承・発信：1校　キャリア教育：4校 ふれあい学習：1校　漁業学習：2校　地域連携：5校 保・小・中アクティブラーニング拠点校：1校 学校間交流：1校　農業体験教育：1校　地域活性化：1校 表現力育成：1校　心を耕す教育：1校 学校ボランティア有効活用：1校 (※重複校有)</p>		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> □地域を生かし学校の実態に応じた特色ある学校づくりを積極的に推進 <ul style="list-style-type: none"> ・明倫小や椿東小では、松陰教学 ・木間小・中、三見小・中、相島小・中では、小中連携（一体）教育 ・大島小・中では漁業学習 □1校の実践にとどめず、多くの学校に参考としてもらうために、萩市教育研究発表大会で実践発表 <ul style="list-style-type: none"> ・椿西小「コミュニティ・スクール」としての7年間の歩みについて ・萩市が進めるコミュニティ・スクールの先進校としての発表。他校において、コミュニティ・スクール指定への動き □学校の実践を保護者や地域、他校に対して広く発信 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、学校のHP等の活用による情報発信 ・1年間の年度末のまとめとして、各学校の取組を学校教育課キャビネットへ記載 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> □地域や学校の実態に応じた特色ある学校づくりの更なる推進に向けた計画、実践、評価、見直しのPDCAサイクルの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標を鮮明にし、保護者や児童生徒等の声を聞きながら、常に改善を加えながら実践を行う。 ・学校教育目標とコアスクールとの関連づけによる実践を図る。 □情報発信により保護者や地域住民の理解・協力を得るとともに、協働体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧、学校だよりや学校HP等をさらに活用して取組をPR、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら進める。 ・児童生徒にも意識させながら、実践を行う。 		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模校のコアスクールは目標が掲げにくいと思うが、目標を達成できるようにしていただきたい。 ・時間経過によりコミュニティ・スクールの目的等がぼやけて、事業がマンネリ化しないようにして指導をしていただきたい。 ・コミュニティ・スクールに地域の人を呼び込むような仕掛けが必要である。 		

事業点検・評価シート

平成24年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	確かな学力育成事業		
事業目的	教師の授業力の向上と各学校における校内研修の活性化を図るとともに、児童生徒の家庭学習の習慣化や各学校の学力向上に向けた主体的な取組を支えることをとおして確かな学力の育成を行う。		
目標	学校体制での授業改善による授業力の向上や児童生徒の家庭学習の習慣化等により、国や県と同程度以上の学力を保障する。		
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> □リーフレット「萩市の学力向上をめざして」～萩市重点取組事項チェックリスト～を作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校の力を伸ばす組織づくり」「分かる・できる・楽しい授業づくり」「家庭と連携した学習習慣づくり」「落ち着いて学習に取り組める環境づくり」の推進 □指導主事の学校担当制による学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な訪問による授業参観・授業へのアドバイス ・校内研修における指導助言 □学力向上推進リーダーおよび学力向上推進教員による学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・兼務校（9校）における授業づくりの指導助言 ・ミニ研修会の実施 □自主学習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市教委主催で年8回、金曜日の夜に2時間実施 ・授業実践または研究実践の紹介 □へき地・複式教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・複式授業の拠点校である弥富小が作成した「弥富っ子の学び2012」を複式学級を有する市内小学校へ配布 □やまぐち学習支援プログラムの積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学期末問題、学力定着状況確認問題等の活用による児童生徒の学力の状況把握 ・基礎的・基本的な学習内容の定着に向けたやまぐち子学習プリントの活用 □家庭学習の習慣化に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校における「家庭学習の手引き」の作成。児童生徒への配付 □小規模校同士の集合学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・旭・川上地域交流→川上小、明木小、佐々並小/川上中、明木中、佐々並中 ・山島交流→木間小、大島小、相島小、見島小 □小規模校の交流学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の児童生徒が交流学校における授業や行事に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・相島小→椿東小 ・相島中→萩東中 ・見島小→椿西小 ・見島中→萩西中 ・木間小→三見小 		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> □全国学力・学習状況調査の結果からの学力の状況(H24 抽出校実施) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、国語A・B、算数A・B、理科とも全国・県平均値を大きく上回った。 ・中学校は、算数B、理科で全国・県平均値を上回った。数学Aは同程度であったが、国語A・Bはやや下回った。 □担当指導主事及び学力向上推進リーダー等による研修の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校で、校内研修会が活発に行われるようになっており、ミニ研修等の授業力向上に係る研修も日常的に実施されるようになった。 ・中学校区を対象とした小中連携による合同研修会や近隣の同校種による合同研修会等による研修の活性化も図られるようになった。 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の授業力向上による「確かな学力の向上」を柱とした各校の主体的な取組を支援していきたい。 □リーフレット「萩市の学力向上をめざして」の中特に「分かる・できる・楽しい授業づくり」の浸透 <ul style="list-style-type: none"> ・「明確な授業のねらいの提示」「一人学びや子ども同士でかかわり合う時間の確保」「学びの過程が残る板書づくり」「振り返り時間の確保」「授業評価の実施」等一連の学習活動が全ての学級でなされるようにする。 □学力向上に向けた研修会への支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会、小中合同研修会、地域合同研修会など学校主体による研修に対して、市教委の研修支援訪問及び講師派遣補助、学力向上推進リーダー等の派遣を支援することによって、さらに教職員の授業力の向上及び研修の活性化を図る。 		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の目標設定が国や県と同程度以上と曖昧な表現になっている。同程度ではなく国や県以上というような目標設定を高くしてほしい。 ・家庭での学習等を時間を決めて習慣づけてほしい。 		

事業点検・評価シート

平成24年度

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課												
事業名	児童生徒支援事業														
事業目的	いじめや不登校等の生徒指導上の諸問題の未然防止を促進し、問題を抱えた児童生徒・保護者に対して支援を行う。														
目標	<p>萩市の小・中学校の生徒指導上の問題の解決、不登校、児童虐待等の困難な課題に対して、専門的かつ継続的に対応するため、萩市教育委員会の中に、「子ども相談・支援室」を設置し、子どもに関わる相談や支援の充実に努めていく。</p> <p>【平成23年度児童生徒100人当たりの発生率・出現率】</p> <table> <tr> <td>不登校</td> <td>小学校 0.00</td> <td>中学校 2.09</td> </tr> <tr> <td>※(不登校児童・生徒数／全児童・生徒数×100)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>小学校 0.13</td> <td>中学校 0.30</td> </tr> <tr> <td>暴力行為</td> <td>小学校 0.04</td> <td>中学校 0.37</td> </tr> </table>			不登校	小学校 0.00	中学校 2.09	※(不登校児童・生徒数／全児童・生徒数×100)			いじめ	小学校 0.13	中学校 0.30	暴力行為	小学校 0.04	中学校 0.37
不登校	小学校 0.00	中学校 2.09													
※(不登校児童・生徒数／全児童・生徒数×100)															
いじめ	小学校 0.13	中学校 0.30													
暴力行為	小学校 0.04	中学校 0.37													
事業の実施状況	<p><input type="checkbox"/>子ども・相談支援室の活動(相談業務、サポート業務)</p> <p>《相談業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不登校等に係る相談、萩輝きスクールとの連携した学校復帰への取組 ○いじめ・不登校、問題行動等のケース会議の開催 ○臨床心理士の相談業務の連絡調整 ○就学前の幼児の状況把握と発達相談や教育相談業務 <p>《サポート業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめ・問題行動等、生徒指導上の諸課題への対応 ○ひきこもり児童生徒に対する家庭訪問等、個別の支援 ○児童虐待に関する対応（子育て支援課、児童相談所との連携） ○中卒進路未定者の把握と萩ふれあいスペース事業との連携 <p><input type="checkbox"/>萩輝きスクールを拠点とする不登校児童生徒への支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談員6名、非常勤の臨床心理士1名の配置 ○不登校児童生徒及び保護者への通所、家庭訪問、相談室登校への支援 ○臨床心理士によるカウンセリング（年間7回） ○生徒指導・教育相談に関する訪問指導（全小中学校を訪問） 														
事業成果	<p><input type="checkbox"/>平成24年度不登校児童生徒数 19名</p> <p><input type="checkbox"/>【平成24年度児童生徒100人当たりの出現率・発生率】()内は、対前年比</p> <table> <tr> <td>不登校</td> <td>小学校 0.18 (+0.18)</td> <td>中学校 1.18 (-0.91)</td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>小学校 0.27 (+0.14)</td> <td>中学校 1.10 (+0.80)</td> </tr> <tr> <td>暴力行為</td> <td>小学校 0.00 (-0.04)</td> <td>中学校 0.39 (+0.02)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○「不登校」については、減少傾向が続いている、3年前の約半数となっている。 ○「いじめ」の発生率は若干上がっているが、これは各学校における「いじめ」への意識が高まったことで、事案が初期の段階から積極的かつ適切に対処した結果であると捉えている。ちなみに、これらの事案はすべて解消済みである。 <p><input type="checkbox"/>平成24年度輝きスクール通所生徒 14名(内 学校復帰者数 4名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年生(5名)の進路先 高校進学 5名 (全日制4名 通信制1名) <p><input type="checkbox"/>萩市派遣スクールカウンセラーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な派遣先：小学校5校、萩輝きスクール 4時間×年間54回=年間216時間分の派遣 			不登校	小学校 0.18 (+0.18)	中学校 1.18 (-0.91)	いじめ	小学校 0.27 (+0.14)	中学校 1.10 (+0.80)	暴力行為	小学校 0.00 (-0.04)	中学校 0.39 (+0.02)			
不登校	小学校 0.18 (+0.18)	中学校 1.18 (-0.91)													
いじめ	小学校 0.27 (+0.14)	中学校 1.10 (+0.80)													
暴力行為	小学校 0.00 (-0.04)	中学校 0.39 (+0.02)													
今後の取組	<p><input type="checkbox"/>不登校未然防止に向けた対策の一層の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導主任会、教育相談担当者会議等における研修会の実施 ○萩輝きスクール相談員の資質の向上を目的とした研修機会の充実 ○萩輝きスクールから学校、家庭、地域への積極的な情報発信 <p><input type="checkbox"/>萩市派遣スクールカウンセラーの活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各小学校、萩輝きスクールへの派遣回数の拡充要望 ○緊急時における学校からの要請に応じたオンデマンド訪問 ○各校配置スクールカウンセラーのスーパーバイズ ○各小中学校の教育相談担当に対するアドバイス 														
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・深刻ないじめとそうでないじめがあるので、明確に判断して対応する必要がある。 ・いじめにつながるような生徒の言動を先生が把握して、適切な指導が必要である。 ・萩市はいじめに関するアンケート、いじめ撲滅宣言をしているので、事業に載せたらいいのではないか。 														

事業点検・評価シート

平成24年度

施策体系	教育行政の推進	担当課	総務課
事業名	学校施設耐震化事業		
事業目的	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、耐震性が確保されていない学校施設の整備を実施し、安全・安心な学校教育環境の整備を図る。		
目標	耐震1次診断の結果に基づき2次診断を実施し、大規模地震により倒壊又は崩壊の危険性がある建物（構造耐震指標[Is値]0.7未満）の耐震補強や改築による耐震化を図る。		
事業の実施状況	<input type="checkbox"/> 改築事業 • 明倫小学校校舎改築工事（～25年度） • 萩東中学校校舎改築工事 <input type="checkbox"/> 耐震補強事業 • 椿東小学校屋内運動場耐震補強工事 • 小川小学校屋内運動場耐震補強工事 • 田万川中学校屋内運動場耐震補強工事 • 須佐中学校屋内運動場耐震補強工事 <input type="checkbox"/> 補強計画及び実施設計業務 • 佐々並中学校校舎・屋内運動場		
事業成果	萩東中学校の校舎のうち耐震性が確保されていない校舎を改築し、その他、小中4校の屋内運動場の耐震補強工事を行った。 明倫小学校は、旧萩商業高等学校への移転整備に着手した。 佐々並中学校の校舎及び屋内運動場を佐々並小学校として使用できるよう補強計画等を実施した。		
今後の取組	耐震性の確保が必要な学校施設について、平成27年度を目途に耐震化の完全実施を図る。		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> • 耐震化事業は今後も計画に基づいて進めてほしいが、あらゆる災害に対して強い施設にしなければ避難所としての役割を果たせない。 • 避難所指定になっていない学校施設もあるが、いろんな災害を想定して学校施設を臨時の避難所として開放していただきたい。 • 施設だけでなく、通学路の安全もしっかり確保してほしい。 • 避難訓練の充実が望まれる。 		

4 教育委員会の活動について

(1) 教育委員会会議

平成24年度においては、教育委員会会議を13回開催し、32件の議案を審議、可決しました。内容は、次のとおりです。

・教育行政に関する基本方針に関する事項	4件
・学校運営に関する事項	2件
・教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事項	5件
・教科用図書の採択等に関する事項	2件
・人事に関する事項	9件
・各審議会等委員の任命に関する事項	7件
・教育委員会事務の点検・評価について	1件
・重要伝統的建造物群保存地区の決定等に関する事項	2件

(2) その他の活動

- ・学校訪問 小学校 21校 中学校 16校

全小・中学校を訪問し、各学校の教育活動やコミュニティ・スクールの取り組み等について説明を受け、授業参観での感想や意見を述べ、学校施設の現況についても説明を受けました。

- ・先進地視察

岡山県岡山市の小・中学校を視察しました。

岡山市立津島小学校 テーマ「子どもの学びを豊かにする授業づくり」

岡山市立御津中学校 テーマ「一人一人を大切に 自他を認め合う 仲間づくり
をめざして」

- ・委員研修 山口県市町教育委員研修会

山口県主催の研修会に参加し、研修しました。

[添付資料]

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。